

科目名	音楽基礎B3								年度	2025
英語科目名	Basic Theory of Music B3								学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員	野村大輔	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家、プロデューサー、ディレクター			
【科目の目的】 良質な音響を実現するためのスキル、具体的には、ギターのトラブルシューティング、インピーダンスの理解、適切な機材の選択、アンプの設置と移動などを学び、ライブ演奏の幅広い状況に対応できるよう学ぶ。										
【科目の概要】 譜面が読めて普通にプレイ出来る…に留まらず、昨今のライブ、コンサート等で不可欠な「電気」についての基礎知識…家庭用コンセント1口には約100V/15Aという電気が来ていて…という初歩的な事を習得する…等、お客さんが聴くに耐える「良い音」について触れる。										
【到達目標】 A. ギターの音が鳴らない際にその原因を把握し、把握することができる B. インピーダンスを理解し、音声信号に応じた機材をチョイスすることができる C. 自分自身で簡易的なアンプを移動させ設置し、路上において小音量でライブを行う事ができる										
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力					
到達目標 A	ギターの音が鳴らない際にその原因を把握できる		ギターの音が鳴らない際にその具体的症状を説明できる		到達目標Aについてさらなる努力が必要					
到達目標 B	インピーダンスを理解し、音声信号に応じた機材をチョイスすることができる		インピーダンスを理解できる		到達目標Bについてさらなる努力が必要					
到達目標 C	自分自身で簡易的なアンプを移動させ設置し、路上において小音量でライブを行う事ができる		自分自身で簡易的なアンプを移動させ設置できる		到達目標Cについてさらなる努力が必要					
【教科書】 適時、講師より教材を配布する。										
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する										
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、授業内試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		音楽基礎B3			年度	2025
英語表記		Basic Theory of Music B3			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	電気熱量計算	電力の理解	1 計算式理解	電気の熱量計算ができる	3	
			2 熱量計算	電圧と電流の関係理解		
			3 電気知識	ワット数の意味把握		
2	ボーカルマイク学	ボーカルマイク選定	1 マイク選択	ボーカル向けマイク特性	3	
			2 ボーカル用	マイク選定理由理解		
			3 マイク特性	マイク種類の用途把握		
3	ドラムマイク学1	マイク選定法	1 ドラムマイク1	ドラムマイク知識(1)	3	
			2 パーツ別	ドラム各パーツの特性		
			3 マイク知識	適切なマイク選択能力		
4	ドラムマイク学2	マイク選定法	1 ドラムマイク2	ドラムマイク知識(2)	3	
			2 配置理解	マイクの配置技術		
			3 録音適応	マイク利用の応用力		
5	ギター用マイク学	マイク選定法	1 ギターマイク	ギターアンプマイク理解	3	
			2 アンプ特性	音響特性の理解		
			3 適材適所	マイクの目的選択		
6	ベース用マイク学	マイク選定法	1 ベースマイク	ベースアンプマイク選択	3	
			2 低音対応	低音域のマイク利用理解		
			3 マイク適用	適切な音取り技術		
7	ヘルツ・位相学	周波数の学習	1 ヘルツ理解	ヘルツの基礎知識	3	
			2 位相知識	位相の基本理解		
			3 音質分析	音の波形知識		
8	位相ズレの学習	位相ズレを耳で確認	1 位相ズレ	位相ズレの影響理解	3	
			2 マイク配置	マルチマイクの配慮		
			3 録音技術	位相問題の解決策		
9	インピーダンス	インピーダンスの知識	1 インピーダンス	インピーダンスの基本	3	
			2 D.I. 機能	D.I. ボックスの機能		
			3 接続知識	ライン接続の理解		
10	真空管の学習1	真空管基礎知識	1 真空管1	真空管アンプの原理(1)	3	
			2 管理解	アナログ技術の理解		
			3 アンプ知識	真空管の特性知識		
11	真空管の学習2	真空管応用知識	1 真空管2	真空管アンプの原理(2)	3	
			2 構造把握	真空管アンプのメンテナンス		
			3 音色影響	音質への影響把握		
12	ボーカル録音法	録音技術	1 ボーカル録音	ボーカル録音の技術	3	
			2 技術習得	ボーカル表現力の向上		
			3 表現力向上	録音環境の最適化		
13	ドラム録音法	録音技術	1 ドラム録音	ドラム録音の手法	3	
			2 セットアップ	ドラムセットの音取り		
			3 音捉え方	録音時の注意点		
14	ギター録音法	録音技術	1 ギター録音	ギターアンプ録音技術	3	
			2 アンプ録音	マイキング技術の向上		
			3 マイキング	アンプ特性の理解		
15	まとめ	期末試験対策	1 総まとめ	総合的な理解確認	3	
			2 知識確認	授業内容の復習		
			3 技術整理	知識と技術の統合		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等